

「消費生活センター」から身近な情報をお届け

『ドライブレコーダーは定期的に点検を!』

ニュースなどで頻繁に報道されているように、高齢者の操作ミスによる交通事故が多発しています。最近では、万が一の事故に備えて「ドライブレコーダー」を取り付けている車を多く見かけます。

普段から、安全運転を心がけることが大切ですが、交通事故は自分に落ち度がなくとも巻き込まれてしまうこともあります。

【ドライブレコーダーのメリット】

○事故や当て逃げの際、証拠を残すことができる。  
○あたり運転や幅寄せなどの危険運転の抑止になる。

しかし、ドライブレコーダーを取り付けていても事故

を起こした際、録画されていないことがあります。

■事例①

ドライブレコーダーを取り付けたがSDカードが不良で録画されていなかった。(70代・男性)

■事例②

車を運転中、交差点で対向車と衝突したが、ドライブレコーダーに映像が記録されていなかった。(60代・男性)

※注意点

録画にはSDカードが必要で、SDカードが経年劣化により異常を起こし、録画できていなかったり、使用前に初期化が必要な場合があるので、定期的に確認するようにしましょう。

問 市民課消費生活センター 内線2531

你好,平戸

vol. 2

『花火大会』

8月といえば「お盆」「夏祭り」「花火大会」など、夏の良さを存分に満喫できるイベントが多くあります。その中で、私は花火大会が一番好きです。北海道にいた時、札幌市の豊平川で打ち上げられた花火は宝石のように夜空で輝いて、とても感動しました。

日本と違い、中国では冬(旧正月)に、市民が街中で花火を打ち上げます。春節(旧正月)、特に大晦日の花火は、私が子どものころから毎年楽しみにしているイベントで、午前0時に花火を上げ、良い年になるようお祈りします。

しかし、近年北京をはじめとする大都市では、大気汚染対策の一環として、花火や



国際交流員  
丁睿朗  
(ティ・エイロウ)  
(中国出身)

爆竹の使用が厳しく制限されています。今年から北京の五環路(北京市中心部から10キロほど外周を通る環状道路)以内では花火の販売と使用が禁止されました。

「静かで清々しい正月」を喜ぶ人たちもいましたが、私は寂しいと感じ、花火や爆竹が無いと年越しの気分が出ないと思っています。北京の青空を守るために、花火の規制などの政策が必要であると思いますが、いつか花火の打ち上げが解禁される日を待ちたいです。

8月3日、平戸港夏まつりの花火をとても楽しみにしています。会場で皆さんと会えるのを心から期待しています。

問 文化交流課交流推進班 内線2278

《 「平戸よかよか体操」オリジナルCDおよびDVDを無償貸し出し中です! 》



「生月高齢者生活福祉センター住民主体の通いの場」

生月高齢者生活福祉センター(平戸市社会福祉協議会生月支所内)では、平成29年9月からセンターに入居している人の運動機能の向上と地域の人との交流を図るために、平戸よかよか体操を行う通いの場を始めました。体操は、30分程度のショートバージョン(通常60分程度)を実施し、通常の体操が難しい人でも参加しやすくしています。また、同センターでは月に1回、第3水曜日の体操終了後に地域ふれあいルーム介護予防カフェ「ゆ〜らり」を開催し、お茶会や脳トレに取り組んでいます。送迎も行っていますので、交通手段がない人でも気軽に参加できます。

「みんないきいき元気に」  
高齢者の通いの場訪問  
VOL.41

平戸市では、高齢者がいつまでも元気でいられるために、身近な地区公民館などで健康体操「平戸よかよか体操」を毎週行う場の設置を推進しています。このコーナーでは、各地区の「高齢者の通いの場」を毎月紹介しています。

問 長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター) 内線2593

Interview

生月高齢者生活福祉センター  
住民主体の通いの場  
支所長  
はまさき たかひろ  
濱崎 隆広さん  
(生月町)



同センターでは、介護予防に関する既存の地域資源を生かしながら「体操には興味があっても参加できる場所がない」「交通手段がない」などの手が届きにくい部分をサポートし、参加しやすい環境づくりに取り組んでいます。

体操についても、他の地区からの参加者も増えていますので、週1回の体操をきっかけに高齢者が元気になり、顔の見える関係ができればと思います。

今後も、介護予防に取り組みたい人が気軽に参加できるよう、工夫しながらサポートしていきたいと考えています。

活動日/毎週水曜

午前9時30分~10時30分

活動場所/生月高齢者生活福祉センター

開催地区/生月地区

支所長/濱崎 隆広

